

第5回 沼津市新中間処理施設 整備基本構想

検討委員会 資料

日時： 平成26年1月27日（月）
場所： 沼津市民文化センター
第3練習室

目次

- 1 新施設整備に向けた
目的及び課題と整備方針
- 2 検討委員会からの提言
- 3 基本構想で示す内容
- 4 委員の皆様からの意見
- 5 今後のスケジュール

1 新施設整備に向けた 目的及び課題と整備方針

整備方針の位置付け

新施設整備に向けた目的及び課題



課題に対する検討



整備方針の決定

新施設整備の目的

<循環型社会の実現>

焼却で生じる熱を利用した発電等、資源・エネルギーの有効利用。

<耐震性の確保>

現在の清掃プラント（焼却施設）は耐震性が無いと診断されており、早急に対策が必要。

<安心・安全>

新しい技術による環境負荷の低減や、災害時の備え。

新施設整備に向けた課題①

1 3Rの推進（ごみ減量）

- ・ 一般廃棄物処理基本計画での目標（10%削減）に寄与できる施設
- ・ ごみ処理のみではなく啓発、学習の場としての機能

2 ごみに含まれる エネルギーの利活用

- ・ 焼却による熱を利用した発電
- ・ 埋め立てごみ熱源利用プラスチック（③類）の処理

新施設整備に向けた課題②

3 強靱なごみ処理システムの構築

- ・耐震性の確保
- ・被災時にも安定稼働できる処理システム構築

4 ごみの分別等における 市民負担の軽減

- ・新たな技術による機械選別等の導入
- ・市民による分別の負担軽減

新施設整備に向けた課題③

5 市民に開かれた施設としての あり方

- ・環境拠点として周辺環境への配慮や見学者への対応など
- ・市民に開かれた施設として迷惑施設のイメージからの脱却

6 事業手法の検討

- ・安心・安全の確保
- ・建設から維持管理、運営までのトータルでのコスト縮減

新施設整備の整備方針①

地球に優しい施設

ダイオキシンなどの環境汚染物質の発生を抑制し、施設周辺の自然環境及び生活環境への負荷を低減するとともに、熱エネルギーの有効活用などにより地球に優しい施設とします。

新施設整備の整備方針②

安定・安全性に優れた施設

最新のごみ処理技術を導入し、安全で効率的であり災害にも強い施設とします。

また、防災拠点としても位置付けることによって、施設周辺の住民をはじめ市民が安心して生活できる施設とします。

新施設整備の整備方針③

資源や熱エネルギー等を 効率良く利活用できる施設

循環型社会形成推進基本法に基づき、発生抑制（Reduce）、再使用（Reuse）及び再生利用（Recycle）の「3R」を推進するとともに、更に熱回収を行うことで、資源やエネルギーを効率良く利活用できる施設とします。

新施設整備の整備方針④

維持管理が容易で経済性に 優れた施設

施設整備にかかる施設建設費や維持管理費等の事業コストの低減を図り、適正な維持管理が容易に実施できる施設とします。

新施設整備の整備方針⑤

市民に開かれた施設

ごみ処理や資源物の有効利用、熱エネルギーの回収等を通じ、環境への関心と理解を深めるため、小中高生の施設見学や市民の環境学習及び施設周辺住民のコミュニティ活動に役立つ開かれた施設とします。

新施設整備の整備方針⑥


周辺環境と調和した施設

周辺地域の景観に配慮した建築デザインとするとともに、緑地の確保等により、周辺環境と調和した施設とします。

2 検討委員会からの提言

提言の位置付け

これまでの検討内容、結果を検討委員会から市長への「**提言**」としてまとめる。

 いただいた提言を踏まえ、市として新施設整備に向けた基本構想を策定する。

提言の概要①

ごみ処理の現状と将来予測

- ごみ量の予測、施設規模は妥当
- 災害廃棄物の発生量の把握
- ごみ質の安定化に向けた水切りの徹底

提言の概要②

ごみ処理方式

- 焼却方式はストーカ式焼却炉を基本
- リサイクルは現状を継続し、負担軽減に向けた機械選別等の導入

提言の概要③

ごみ処理システム

- ・ 埋め立てごみ 熱源利用プラスチックごみ（③類）は、環境対策を講じ、熱回収量増加に向け焼却

提言の概要④

エネルギー利活用

- ・ 発電による熱エネルギーの活用
- ・ 余熱利用は、市民ニーズ、民間施設の動向、先進事例等をもとに、地域活性化に向けたあり方を検討
- ・ 自然エネルギーの活用と省エネ化

提言の概要⑤

公害対策

- 法規制値以上の公害防止基準
- 現在よりもさらに市民の安心と安全を確保

提言の概要⑥

事業方式

- 安心、安全の確保に対する市の責務を明確化
- トータルでの事業費縮減

提言の概要⑦

災害対策

- ・ 災害時にもごみ処理を継続できる耐震性の確保
- ・ 発電能力等を生かした防災拠点としての活用

提言の概要⑧

環境拠点

- ・ 環境学習やコミュニティ活動の拠点機能
- ・ 開かれた施設とし、迷惑施設というイメージからの脱却

3 基本構想で示す内容

基本構想検討のまとめ

来年度以降の施設整備基本計画の検討をはじめ、今後の施設整備に向け検討結果を整理。

→ 前回の検討委員会で提示したとおり、内容により**具体化する項目と方針として示す項目**に分け、整理。

具体化する項目①

整備する処理施設の 種類及び規模

焼却施設 ⇒ 210 t / 日

リサイクル施設 ⇒ 28 t / 日

焼却方式

ストーカ式を基本とする。

具体化する項目②

焼却対象とするごみ

- ・ 燃やすごみ
- ・ 埋め立てごみ 焼却粗大ごみ (②類)
- ・ 埋め立てごみ
熱源利用プラスチックごみ (③類)
- ・ 衛生プラント し渣

具体化する項目③

計画ごみ質

種別	熱量
低質ごみ	4,700kJ/kg (約1,120kcal/kg)
基準ごみ	7,500kJ/kg (約1,790kcal/kg)
高質ごみ	10,500kJ/kg (約2,510kcal/kg)

方針として示す項目①

リサイクル方式

- ・ リサイクル施設の機能の統合
- ・ 現状のリサイクルの継続
- ・ 新たな機械選別の導入

方針として示す項目②

エネルギー利活用

- 焼却の熱を利用した発電
- 施設外への熱供給の検討
- 施設自体の省エネルギー化

方針として示す項目③

公害防止

- 法規制以上の公害防止基準の設定などにより、さらに安心と安全を確保
- 公害防止基準の設定やそれに向けた設備の導入等については、今後の検討で具体化

方針として示す項目④

事業方式

- ごみ処理事業を良質かつ低コストで提供
- 安心、安全かつ良好な事業水準の確保と事業費全体の縮減
- 事業範囲の設定、モニタリング、業者選定の透明性確保

方針として示す項目⑤

災害対策

- 施設自体の強靱化
- 供給施設停止時に向けた対策
- 防災拠点としての位置付け
- 災害廃棄物への対応の検討

方針として示す項目⑥

環境拠点

- ・ 市民に開かれた施設として迷惑施設のイメージからの脱却
- ・ ごみ処理のみではなく、啓発施設として見学者対応や環境学習拠点としての機能
- ・ 周辺環境との調和や緑地の確保

4 委員の皆様からの意見

委員の皆様への意見照会

第4回検討委員会までの検討結果を基に基本構想（素案）を作成し、委員の皆様からご意見を募りました。



お寄せいただいたご意見とそれに対する市の考えは次のとおりです。

意見①：白煙防止装置

検討委員会で視察した先進施設では白煙防止装置を設置していたが、新施設ではどのように考えるか？



- ・ 煙突から見える白煙は主に水蒸気であり、大気汚染物質等ではない。
- ・ 景観上、白煙が出ると好ましくないという考えもあるが、排ガスの再加熱が必要になり、エネルギーの面からはデメリットとなる。

意見②：煙突の高さ

煙突を高くすることによって排ガスが拡散するので、費用が掛かっても煙突を高くするべきではないか？



- ・ 煙突の高さについては、ご指摘のとおり排ガスの拡散に必要な高さを確保する。
- ・ 現在、生活環境影響調査を行っているので、この結果を基に今後具体的な検討を行う。

意見③：硫黄酸化物等の処理の薬剤

硫黄酸化物等の処理に使用するアルカリ剤は消石灰より重曹の方が有効ではないか？



- ・ 使用する物質により、排ガスの温度管理、使用量、価格等の面でメリット、デメリットがあり、一概に判断できない。
- ・ 今後の検討の中で、全体の設備と併せて薬剤の検討も行う。

意見④：余熱利用施設の整備

余熱を利用した温室で野菜等を栽培し、エコの見本とするとともに、その運営は長期の民間委託で行ってはどうか？



- 余熱利用施設については、市民ニーズ、民間施設の動向、先進事例等を調査し、広く市民に利用されるあり方を検討する。
- 温室も含め、今後の施設整備計画等の中で具体化していく。

5 今後のスケジュール

パブリックコメントの実施

提言書の提出



基本構想(案)の作成



パブリックコメント実施

パブリックコメント制度

定義：

市の基本的な政策等の策定過程において、**案の段階でその趣旨、内容等を広く公表し、当該案に関する意見を求め、提出された意見に対する市の考え方を明らかにするとともに、提出された意見を考慮して意思決定を行う一連の手続きをいう。**

パブリックコメントの結果公表

パブリックコメント実施



提出された意見に対する市の考え方の整理
基本構想(案)の修正



パブリックコメント結果の公表
基本構想の策定

ご清聴ありがとうございました